

アセットマネジメントに関連する基本的方針について ～これまでの議会等での答弁内容～

アセットマネジメントについての考え方

- ・ 将来を見据えた堅実で持続可能な自治体運営を進めていくためには、財政基盤の強化を図りながら、より効率的、効果的に行政サービスを提供していくことが必要
- ・ 限られた財源の中で、多様化する市民ニーズに的確に応え、質の高いサービスを提供していくためには、公共施設についても経営的な視点に立ち、設備投資や管理運営を行っていくことが重要
- ・ 合併後10年が経過した本市における公共施設は、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用など、アセットマネジメントの推進が必要不可欠

本市の課題に対する具体的な解決策として

- ・ 個別施設計画の策定による公共施設の集約や再配置
- ・ 本庁舎の老朽化と狭隘化の解消
- ・ 総合支所の活用や各部の統合
- ・ ごみ処理施設に係る余熱利用施設の整備

個別施設に関する発言

- ・ 東京理科大学跡地は公共施設として利用しない
- ・ 東京理科大学跡地に整備を予定していた施設（生涯学習センター、児童館、子育て支援センター、こども図書館、保健センター）は市民の皆様の切実な要望であり、何らかの形で実現したい
- ・ 生涯学習センターは既存施設の空きスペースを有効利用して整備するのが一番良い方法と認識しており、鷺宮総合支所の空きスペースに整備することを大きな選択肢として検討している
- ・ 市民サービスの向上、とりわけ市役所で行う手続きのワンストップ化を目指していく必要があり、全ての公共施設の核となる新庁舎の建設について具体的に検討に着手すべき時期にあると認識している
- ・ 新庁舎の建設については、合併推進債を活用することができる新市基本計画の計画期間である令和11年度が1つの目安になると思っている